

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 藤岡市立美土里小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒375-0052  
群馬県藤岡市下大塚222番地

E-mail master@midoric1-es.gsn.ed.jp

Website http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010005

児童生徒数 男子 247名 女子 239名 合計 486名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ キャリア教育 ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1 人権教育

平成27・28年度にわたり、藤岡市人権教育実践推進校の指定を受け、本年度は2年目となり、まとめと発表の年であった。「自ら学びを創造する、心豊かな児童の育成 ～授業中の積極的な生徒指導を基盤とした指導の充実を通して～」を研究テーマとして取り組んだ。

「いじめをはじめとする差別や偏見を見抜く力（確かな判断力）と、いじめ等をしない、させない、許さない実践力（豊かな心）を身に付けた児童の育成」を目指し、常時指導を基盤に、職員研修を計画的に積み上げながら、児童主体の活動を教育活動に位置付け実践した。成果は、市内教職員を対象に発表した。

(1) 人権学習週間・月間（年2回）

- ・オープニング集会： 企画委員による発表「あいさつの花を咲かせよう」  
人権テーマソング演奏、全校合唱「いつだって！」
- ・あいさつ運動（スマイルハイタッチ運動） 小中合同あいさつ運動の実施
- ・ほかほかタイム（友だちのよいところを、給食時の全校放送により共有）
- ・ハッピー・はあとふるツリー（いいところ見つけの花）運動
- ・JRC登録式、人権標語募集、（道徳、学活の授業）、レッドリボン運動
- ・いじめアンケート： 学級会、企画委員による「みどり思いやり宣言」
- ・エンディング集会： 「ふりかえりカード」で人権活動の継続を宣言。

(2) 縦割り班活動

- ・縦割り班による人権に関する本の読み聞かせ

#### 2 高山社学（世界遺産）

藤岡市では、世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の一つである「高山社跡」を活用し、校区ごとに特色ある教育活動に取り組んでいる。

この取組を人権教育の中に位置づけ、豊かな心の育成を図っている。

(1) 養蚕体験

3年時、理科の生物観察の対比学習として実施した。今年度は県の絹文化プロジェクトによる500頭の蚕を人工飼料で飼育（4齢～）するとともに、市の取組である約500粒の卵から始めて桑の葉で飼育する2つの方法にチャレンジした。体験を通して学びのスキルを獲得し、他者との交流を意図的に組み込みながら、人権教育との関連を意識し、自己決定や相互理解の思いを深めさせた。

額装され掲示された昨年度の校旗や、色違いの今年度の校旗を見上げ、該当学年は有用感を高め、下学年は、「次は自分たちが」という思いを持った。

(2) 9年間の系統性を整理した教科横断的な学習

藤岡市で取り組んでいる小中一貫教育に関連し、小中合同研修部会において作成した中学校区の高山社学系統表に基づく実践を進めている。学年のつながり、教科・領域の関連づけを図りながら、効果的な学習づくりに取り組んでいる。

児童は、ユネスコスクールの一員として様々な学習や活動を継続する中で、他者との関連や地域・社会との関わりを意識するようになってきている。そして、自分のよさや他の人のよさに気づき、さらには自分たちの住む地域への愛着や誇りを高め、関わろうとする思いや態度が育まれてきている。

## ◇活動の様子

### 1 人権教育



①小中合同でのスマイルハイタッチ運動による元気なあいさつ。先輩がお手本。



②集会時の企画委員によるスマイルハイタッチ運動。「あいさつが大好き」な美土里小。



③前期人権オープニング集会、6年生の「世界に一つだけの花」合奏。



④後期人権エンディング集会、全校児童での「ありがとうの花」合唱。「歌が大好き」な美土里小。



⑤人権集中学習中の「HAPPY はあどふるツリー運動」。ともだちのよいところ、学級や異学年のよいところを見つけた。



⑥学級での話し合いをもとに、「ふわふわ言葉をたくさん使う」「友達の名前を呼ぶときは、くん・さん・ちゃんを必ずつける」ことを決め、「みどり思いやり宣言」をした。



#### レッドリボン

「私はやさしい心をもっています。」の意味。今年度も机の右上に貼り、日常的に意識できるようにした。

## 2 高山社学

### ◆ 3年生の養蚕体験



①先輩が育てたカイコの繭で作った校旗を見て、自分たちも作りたいとおもった。カイコの育ち方や飼育方法を調べる。



②カイコの育ち方や飼育方法を調べる。



③カイコカレンダーで、カイコの育ちを確認する。



④カイコにニックネームを付けながら、グループで飼育を担当する。



⑤桑の葉で飼育した。④の人工飼料とは異なり、桑の葉のにおいや、葉を食べる音を感じた。昔ながらの養蚕体験ができた。



⑥大きい繭がとれた。「校旗を作るためには命を止めることになる。」個々がどうしたいか考え、みんなで話し合った。

3年組 番名前

わたしは、ガマで育てたい。

わけは

みんなががまはって  
そだてたカイコだから  
カイコのいのちを止めたく  
ない。

3年組 番名前

わたしは、マコまで育てたい。

わけは

がまいそつだて  
おんをいりたい。命を止め  
てしうけど、おんをいり  
たい。おんをいりたい。おんをい  
りたい。おんをいりたい。  
おんをいりたい。おんをいり  
たい。おんをいりたい。おんをい  
りたい。

◆ 4年生の体験学習



①地域の歴史について、地域の歴史研究家の方から話を聞いた。



②校区在住の高山長五郎の実弟の子孫から話を聞いた。



③地域の神社を見学し、地域の方から説明を聞いた。



④地域にある珍しい古墳の石室に入って観察した。



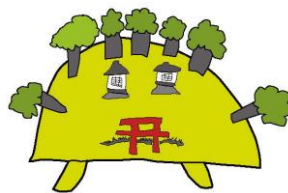
⑤児童の祖母から、昔の話を聞き、座繰り体験をした。



⑥3年生に学習成果を発表。養蚕体験の発展への意欲を持たせた。



⑦キャラクター化やキャッチコピーを作らせることで、その物を焦点化して見たり、要点をまとめたりしてとらえることができた。地域への愛着も高まった。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)